

週間漁海況情報 2021年第33号

令和3年8月24日発行

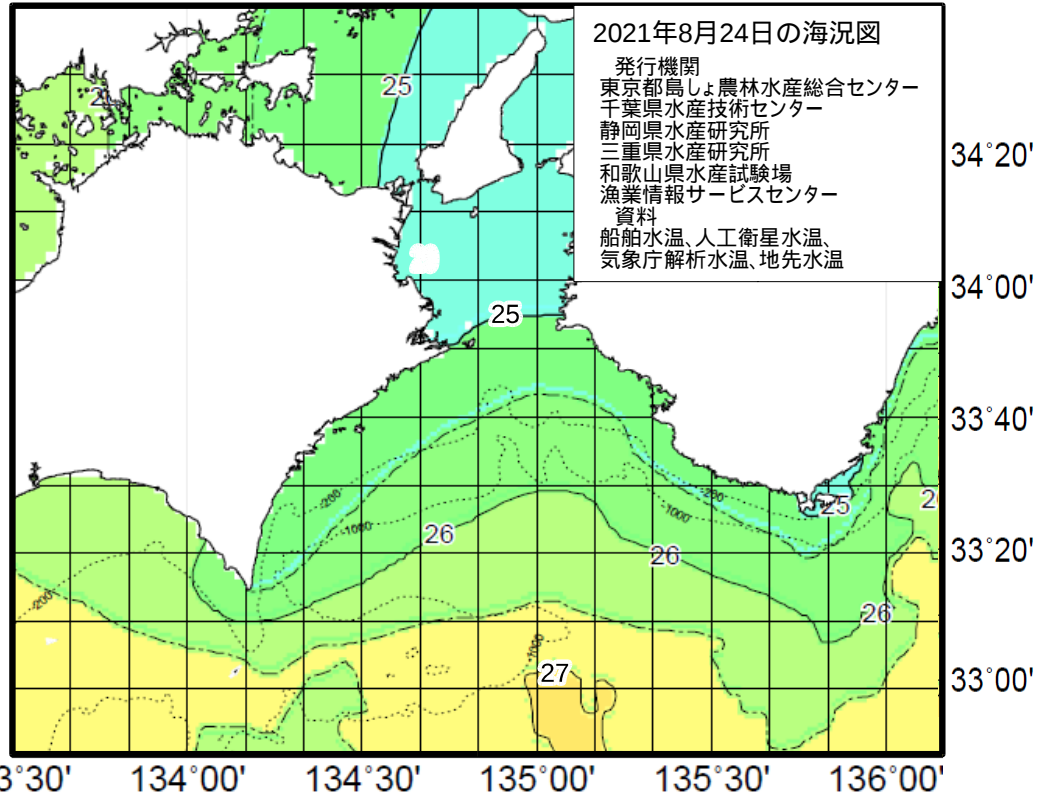
徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究課海洋生産技術担当

海況

1. 周辺海域の水温等

紀伊水道沖の黒潮は、室戸岬沖48マイル、潮岬沖96マイルを流れ、室戸岬沖は「離岸」、潮岬沖は「著しく離岸」となっている。

黒潮から海部海域への暖水波及はみられない。黒潮の表面水温は27 台。徳島周辺海域の表面水温は、播磨灘が24, 25 台、紀伊水道が24 台、海部沿岸が25 台となっている。



黒潮の離接岸の表現

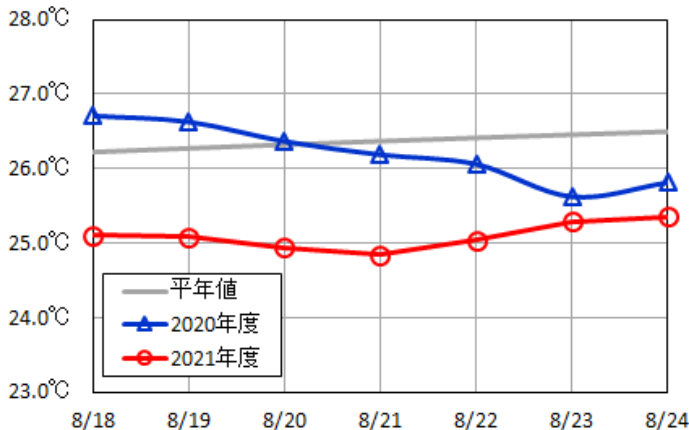
(いずれも正南方向)
室戸岬沖 接岸: ~25NM やや離岸: 25~45NM 離岸: 45~65NM 著しく離岸: 65NM~
潮岬沖 接岸: ~26NM やや離岸: 26~56NM 離岸: 56~86NM 著しく離岸: 86NM~
図中の破線は黒潮の北縁を示しています。

直近4日分の海況図を水産研究課HPに掲載しています。

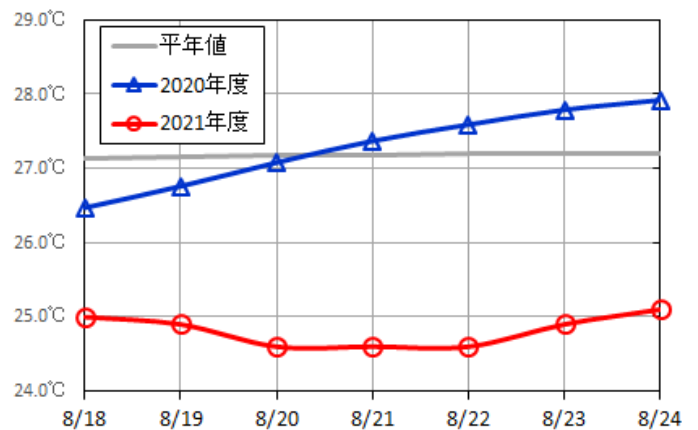
2. 地先水温(2021年8月18日~8月24日)

鳴門地区の水温は24.8~25.4 で「やや低め」から「低め」、日和佐地区は24.6~25.1 で降雨の影響で「低め」から「かなり低め」推移した。日和佐地区の水温が鳴門地区よりも0.1~0.4 低くなった。

鳴門地区



日和佐地区



水温の高低 平年並み: 平年値 ± 0.5 未満, やや高め/やや低め: 平年値 ± 0.5 以上1.5 未満
高め/低め: 平年値 ± 1.5 以上2.5 未満, かなり高め/かなり低め: ± 2.5 以上

平年値 1984年~2018年の平滑平均値

3. 週間予報(8月18日~8月24日)

黒潮は、室戸岬沖で「離岸」、潮岬沖で「著しく離岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地区は「やや低め」に、日和佐地区は「低め」から「やや低め」に推移する見込み。

漁況 (8月16日～8月22日)

1. 紀伊水道 (標本漁協：4)

船びき網では、シラスが93.8ト水揚げされた。

延縄では、ハモが増えて中主体に4.1ト、タチウオが大きく増えて特大主体に0.3ト水揚げされた。

小型定置網では、ふえふきだい類が大きく増えて大主体に1.3ト、マダイが0.5ト、ブリが増えて小主体に0.5ト、マアジが増えて小小主体に0.4ト、カンパチが大きく増えて0.3ト、メイチダイが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

底びき網では、ハモが大きく減って中主体に5.7ト、マダイが減って大主体に0.3ト水揚げされた。

2. 海部沿岸 (標本漁協：4)

釣りでは、カンパチが増えて0.2ト水揚げされた。

小型定置網では、カンパチが大きく増えて1.7ト、かます類が大きく増えて0.2ト、マルソウダが大きく増えて0.1ト水揚げされた。

漁獲量集計表 (漁獲量が0.1トン以上のものを抜粋)

海区	漁業種類	出漁隻数 (のべ)	魚種	漁獲量	1日1隻あたり (kg)	銘柄	前週比
紀伊水道	船びき網	75	シラス	93,750	1,250		
	延縄	27	ハモ	4,076	151	中主体	
		24	タチウオ	266	11	特大主体	
	小型定置網	18	ふえふきだい類	1,277	71	大主体	
		19	マダイ	480	25		
		14	ブリ	466	33	小主体	
		18	マアジ	404	22	小小主体	
		18	カンパチ	288	16		
	底びき網	14	メイチダイ	130	9		
		28	ハモ	5,678	203	中主体	
		21	マダイ	314	15	大主体	
海部沿岸	釣り	13	カンパチ	205	16		
	小型定置網	12	カンパチ	1,687	141		
		6	かます類	157	26		
		10	マルソウダ	107	11		

前週比 200%以上: 120-200%: 80-120%: 50-80%: 50%未満: